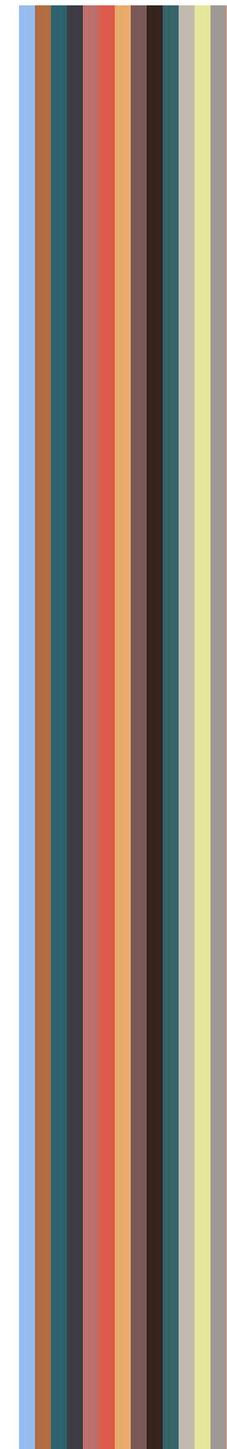


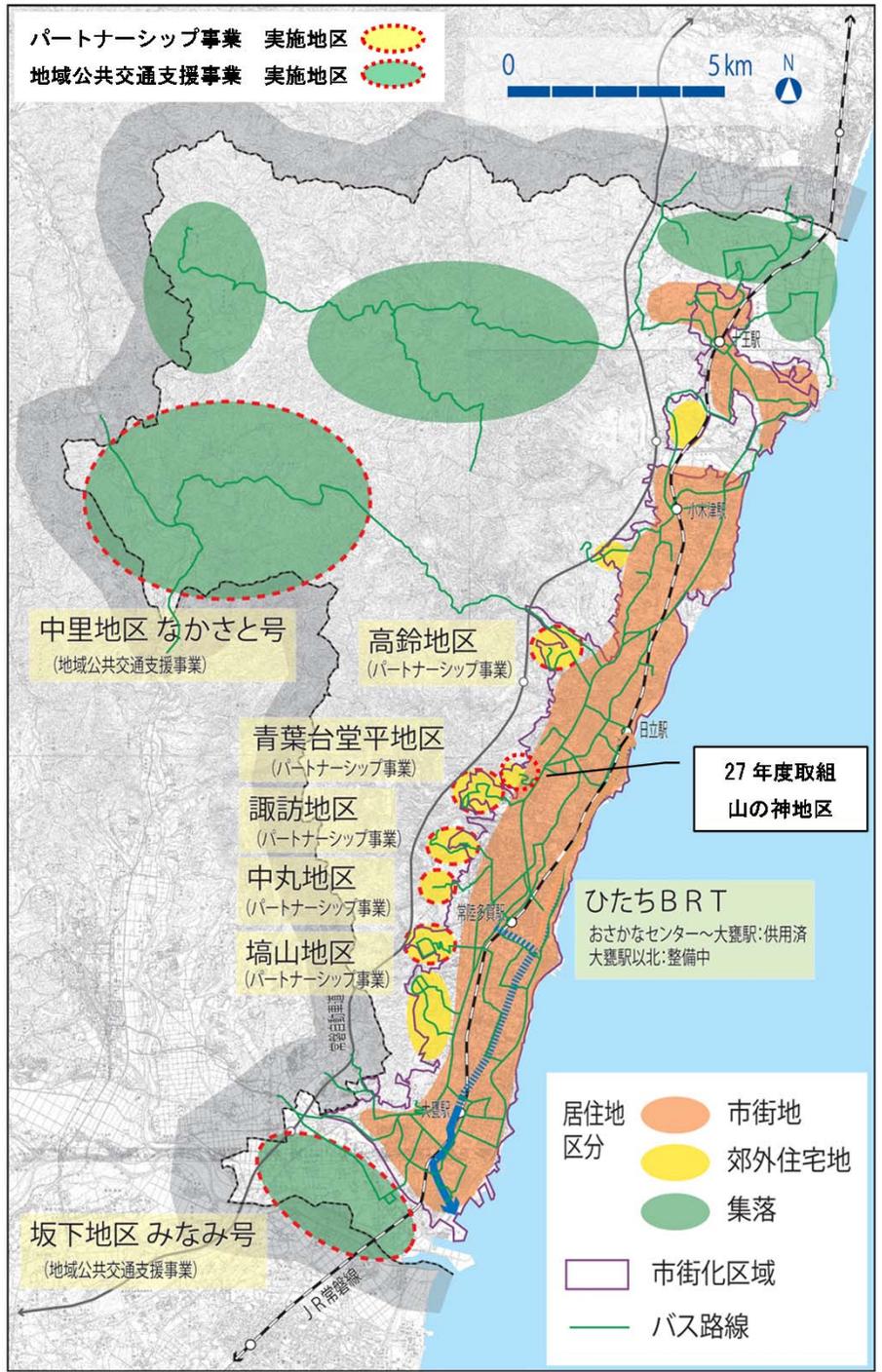
日立市の公共交通活性化に 向けた取組について

第10回地域バス活性化セミナー

平成28年2月1日

日立市都市政策課





公共交通施策の流れ

	第1段階	第2段階	第3段階
施策	<p>公共交通不存在地区における住民主体の公共交通システムの構築</p> <p>郊外フィーダー系</p> <p>平成19年～ 坂下地区「みなみ号」 (定時定路線型)</p> <p>平成21年～ 中里地区「なかさと号」 (デマンド型)</p> <p>地域公共交通総合連携計画 (平成21～23年度)</p>	<p>高齢化の著しい市街地西側の山側団地におけるパートナーシップ事業の推進</p> <p>市街地フィーダー系</p> <p>平成20年～ 諏訪学区 平成23年～ 高鈴台団地 中丸団地</p> <p>平成25年～ 塙山学区 平成26年～ 青葉台・堂平団地 平成27年～ 山の神団地</p> <p>公共交通総合体系計画 (平成24～28年度)</p>	<p>市街地におけるバス信頼性を取り戻すため、バス専用道(BRT)の整備とネットワーク化</p> <p>幹線系</p> <p>平成25年～ BRT第1期 平成29年～ BRT第2期予定</p> <p>↓</p> <p>持続可能な公共交通ネットワークの形成とコンパクトなまちづくり</p> <p>地域公共交通網形成計画 (平成28年～32年度)</p>
住民との協働	<p>責任と費用の分担による地域主体の運行システム</p> <p>①住民負担@2000円/年 ②市は事業費の7割を上限補助 ③地域による不断の見直し</p>	<p>利用者減少が予想される山側造成団地などで、地域内の路線バスを維持確保するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者 路線延長やフリー乗降など住民意向を反映した利便性向上 ・地域住民 地域一丸となった乗車促進 ・行政 コーディネート、支援 	<p>ひたちBRTサポーターズクラブを組織してBRTを育てる。 構成: 周辺住民や関係団体(企業、学校等)</p> <p>地域が運行ダイヤ、各種デザイン等を決定 地域が育て守るひたちBRT</p> <p>企業と協働の動き ⇒</p>

公共交通不存在地区（乗合タクシー事業）

- 坂下地区乗合タクシーみなみ号
（平成19年度から運行）
 - 運営主体 バス路線のない地区の住民が任意団体を作り、年2千円/世帯を集めて運営
 - 運行者 運営主体の入札により、タクシー事業者が運行
 - 形態 定時定路線型
- 中里地区乗合タクシーなかさと号
（平成21年度から運行）
 - 運営主体 タクシー営業所がない中里地区の住民がNPOを作り、年2千円/世帯を集めて運営
 - 運行者 NPO法人助け合いなかさと
 - 形態 デマンド型



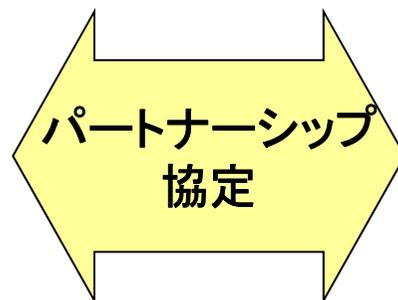
高齢化の山側団地（パートナーシップ事業）



地域住民とバス事業者が
路線バスの活性化について話し合い



地域住民が望む団地内フリー乗降や
スーパーマーケット経由便を実施



バスの乗車促進を地域ぐるみで実施

パートナーシップ事業（諏訪学区）

- 活動期間 平成21年度～
- 活動主体 諏訪学区コミュニティ推進会（世帯数 約2,800）
- 目標値 対前年度比乗車率100%（バス利用者を減らさない）
- 主な内容 ・平日日中のバスを団地内に乗入れてフリー乗降実施
・地域イベント開催時にバスブースを設置
- 成果（平日1日当たりの対象区間内乗車人数）

23年度	24年度	25年度	26年度
459.2人	493.2人	517.2人	486.1人
前年度比	107.4%	104.9%	94.0%



パートナーシップ事業（高鈴台団地）

- 活動期間 平成23年度～
- 活動主体 高鈴台団地自治会（世帯数 約400）
- 目標値 パートナーシップ活動前と比較して乗車率110%
- 主な内容
 - ・平日日中にバスを団地内に乗入れてフリー乗降
 - ・イトーヨーカ堂経由ルートに見直し
 - ・地域イベント開催時に電鉄ブースを設置
- 成果（基準年23年度）

23年度	24年度	25年度	26年度
109.4人	106.9人	110.6人	107.2人
23年度比	97.7%	101.1%	98.0%



パートナーシップ事業（中丸団地）

- 活動期間 平成23年度～
- 活動主体 中丸路線バス維持検討委員会（世帯数 約530）
- 目標値 パートナーシップ活動前と比較して乗車率110%
- 主な内容
 - ・平日日中に運行するバスを団地内に乗入れ
 - ・マルト経由ルートに見直し
 - ・乗車促進の地域イベントを開催
- 成果（基準年23年度）

23年度	24年度	25年度	26年度
84.1人	100.9人	100.0人	93.5人
23年度比	120.0%	118.9%	111.2%



パートナーシップ事業（塙山団地）

- 活動期間 平成25年度～
- 活動主体 塙山学区住みよいまちをつくる会（世帯数 約2300）
- 目標値 パートナーシップ活動前と比較して乗車率110%
- 主な内容
 - ・塙山団地内停留所増設、ダイヤ見直し
 - ・住民同士がタクシーを相乗りで利用
 - ・地域イベント開催時に電鉄ブースを設置
- 成果（基準年24年度）

24年度	25年度	26年度
179.4人	193.6人	190.1人
24年度比	107.9%	106.0%



パートナーシップ事業（青葉台・堂平団地）

- 活動期間 平成26年度～
- 活動主体 青葉台・堂平路線バス検討会議（世帯数 約1200）
- 目標値 パートナーシップ活動前と比較して乗車率105%
- 主な内容
 - ・平日日中に運行する団地ルート^①の延長、停留所増設
 - ・ヨークベニマル店舗敷地にバス乗入れ
 - ・中学生下校専用定期券販売
- 成果（基準年25年度）

25年度	26年度
467.7人	498.0人
25年度比	106.5%



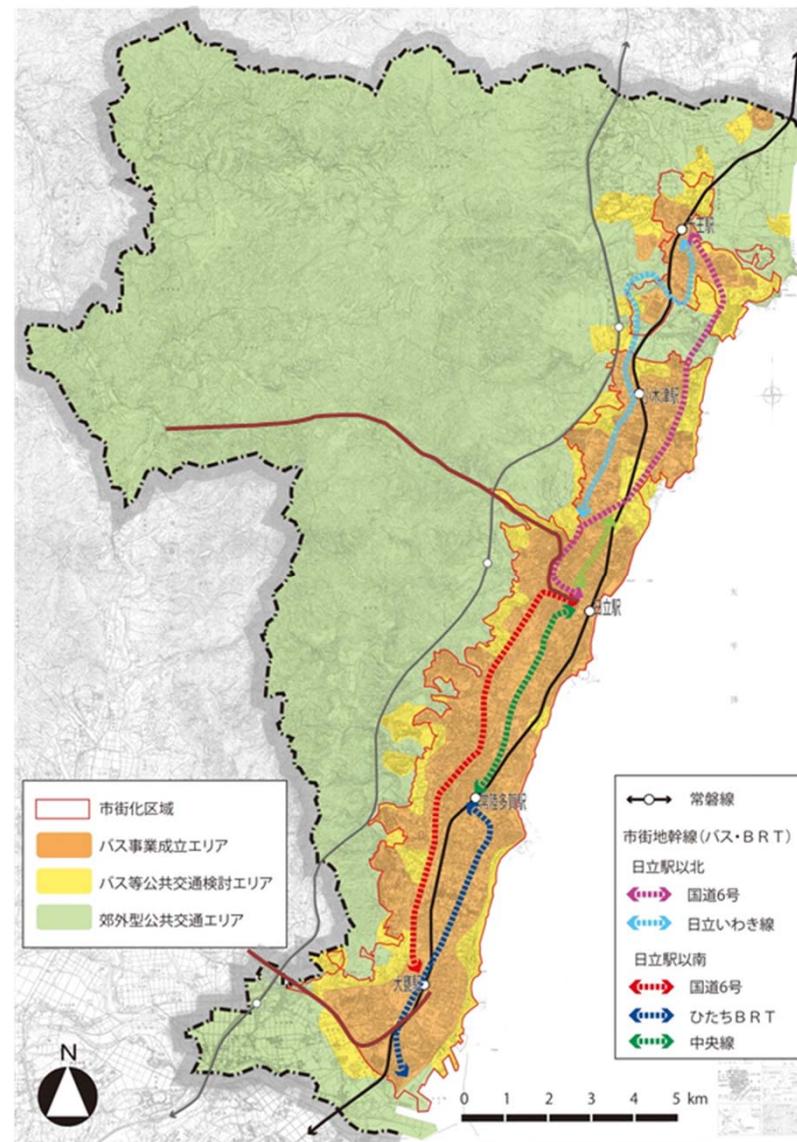
企業版パートナーシップ事業

- 期 間 平成27年度～
- 対 象 ホームセンター山新
- 内 容 店舗前のバス停留所を3者協働で改良
店舗：停留所敷地の無償提供、バス上屋の斡旋
バス：バス上屋工事、バス車内で店舗を無料広告
市：調整、コーディネート



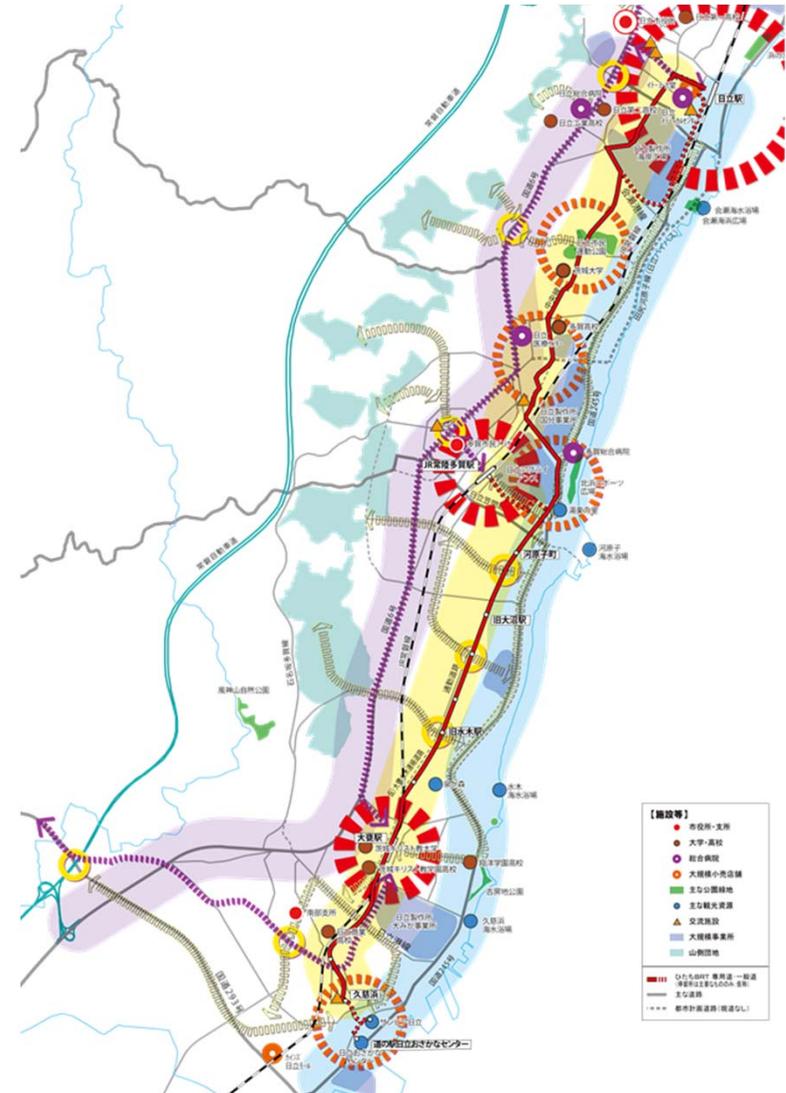
日立市地域公共交通網形成計画

- 人口分布、高齢者分布、路線バスの利用状況、将来人口予測などにより、バス(定時定路線型公共交通)が成立するエリアを把握(全体的把握)
- 住民アンケートを実施(きめ細かく把握)
- 利用者・エリアごとに提供すべき公共交通機関等を分類
- 計画目標、数値目標や具体的な施策を検討中



ひたちBRTまちづくり事業

- ひたちBRTを軸とする公共交通ネットワーク再編事業
- 交通拠点並びに沿線における生活利便施設の立地誘導事業
- 集合住宅立地及び沿線住み替え支援事業
- 災害対応都市基盤整備事業
- BRTターミナル周辺(久慈地区)における都市交流拠点創出事業



ご清聴ありがとうございました。

